

株 主 メ モ

決 算 期	毎年9月30日
定時株主総会	毎年12月
1単元の株式数	1,000株
名義書換代理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 所	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03(5683)5111(代表)
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を 当社のホームページ< http://www.daiichi-d.co.jp/ > に掲載致しております。
上場証券取扱所	JASDAQ市場
証 券 コ ー ド	7643

お 知 ら せ

株式の各種手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-24-4479（本店証券代行部）
0120-68-4479（大阪支店証券代行部））通話無料

インターネットアドレス <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

●配当金の税制が変わります。

平成15年度税制改正により、

①平成15年4月1日から平成20年3月31日までの間に株主様が受け取る当社配当金につきましては、源泉徴収税率は10%となります。

②少額配当申告不要制度の上限規制が撤廃され、当社の年間配当受取額が10万円を超える場合も、源泉徴収のみで納税を完了できるようになりました。また、確定申告をして配当税額控除を適用のうえ、総合課税を選択することも可能です。（当社の発行済株式総数の5%超を所有する個人の株主様を除きます。）

③源泉分離選択課税制度（35%源泉徴収）は、平成15年3月31日をもって廃止されました。詳しくはお近くの税務署にご確認ください。



TEL 0155-24-5582（代表）

FAX 0155-22-7257

<http://www.daiichi-d.co.jp/>

本誌に関するお問い合わせは、企画・IR部までお願いいたします。

第49期 事業報告書

（平成14年10月1日から平成15年9月30日まで）

Frontier Spirit





代表取締役社長 小西 保男

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、決算を終了いたしました第49期（平成14年10月1日から平成15年9月30日まで）の事業報告書をお届けさせていただきます。

第49期の業績につきましては、景気の低迷に加え先行きの不透明感が一層高まる中で、全社一丸となって業績の向上に努めてまいりました結果、売上高は帯広・旭川ブロックともに100億円超を達成し、230億4千万円（前期比3.2%増）、経常利益は過去最高益を更新し、5億3千9百万円（前期比5.1%増）、当期純利益は前期において特別利益4千3百万円が計上されていたことにより、2億9千2百万円（前期比4.0%減）となりましたが、総資本経常利益率は6%を確保いたしました。

利益配当金につきましては、小売業界を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあります。株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、普通配当15円に設立45周年記念配当2円を加え、1株につき17円とさせていただきます。

今後も当社は、経営環境の変化に柔軟に対応し得る強固な企業体質を確立するとともに、経営資源の有効活用による生産性の向上、人材の育成と能力開発の推進に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましても、なお一層のご指導・ご関心を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

Special Report

社長インタビュー

株式会社ダイイチは、1958年、北海道帯広市において若手経済人19名が出資して設立いたしました。組織的な経営で帯広市および旭川市を中心に食品スーパーマーケットの展開を図り、今年設立45周年を迎えました。

当社の特長、今後の事業展開について社長の小西保男が語ります。

スーパーマーケットは全国どこにでもありますが、他社にはない魅力や特長を教えてください。

当社は、開店時に来店されるお客様も夜間に来店されるお客様にも、同じ品質・品揃えで商品とサービスを提供する努力をしています。この当たり前のことがお客様の信頼を得て当社の魅力となっています。開店時に刺身の盛り合わせを並べることも、夜間に揚げたての惣菜を並べることもそれは思った以上に難しい作業です。お客様のニーズにいち早く対応し、毎日新鮮な驚きを与えられる売り場をつくっています。

また、当社は組織的経営を行っているのが特長です。設立当時より、社外取締役・監査役を招聘し、経営監視を強化しております。コーポレートガバナンスの充実が急務となっている今、当社の経営管理組織の整備は他社より一歩先を進んでいます。



Special Report

社長インタビュー

■ 設立45周年の記念行事、記念配当について教えてください。

当社が設立したのは、1958年（昭和33年）7月11日です。その年の9月に本店（現壺号店）を開店しました。北海道のスーパーマーケット第1号です。若手経済人19名が出資して設立しましたが、最初は試行錯誤の連続だったのでないでしょうか。

おかげさまで45周年を迎えることができ大変嬉しく思います。企業が発展し社会に貢献できることを感謝して、今回は帯広市と旭川市の社会福祉法人団体に、車いすに乗ったまま乗り降りができる福祉車両を寄付させていただきました。また、株主様への還元として、普通配当15円に設立45周年記念配当2円加え、当期は17円の配当とさせていただきます。

■ 当期開店した旭川市の旭町店について教えてください。

まず7月22日に無事オープンできましたことを報告させていただきます。天気にも恵まれ順調なスタートを切りました。旭町店は当社が推進する売場面積500坪型店舗第8号店です。当社が核となって、衣料のユニクロ、くすりのツルハ、靴のキックゾーン、レストランのガストとワンストップショッピングゾーンを形成しております。

内装を従来とは大幅に変え、モスグリーンを基調に高級感を出しました。さらに、店内に入って楽しく買い物ができるように、天井にはフルーツや空がデザインされています。外観は、地域に住む人たちが安心して買い物ができるように、その街その場所に溶け込むような色づかいを施しています。

場所は、旭川市中心部の常盤公園から旭橋を渡り、北に位置します。駐車台数380台を確保しておりますので、ぜひ一度お越しください。



■ 2000年4月、JASDAQに上場し3年半が経過しました。札幌へ進出するとうかがいましたが、今後の事業展開を教えてください。

上場以来、着実に業容の拡充を図り、帯広・旭川ともに売上高100億円超を達成しました。さらなる飛躍のために来年夏、札幌へ進出します。

上場時、5年以内に札幌圏への進出を会社説明会等で公表しておりましたので、目標より1年早く出店することとなります。これもひとえに、株主様・お客様・お取引先様のご支援の賜物と考えております。札幌への進出は、同業他社とのより一層の競争が予想されますが、当社の成長発展に必要不可欠と考えて、当社が着実に積み重ねてきた経営ノウハウを活かし、新たな扉を開きます。

出店予定地は、西区八軒、敷地面積2,500坪を確保し、当社が推進する500坪型店舗を展開します。当社の出店戦略は、同業他社との競争力の確保や顧客満足の確保、そして人時生産性の向上を目的に店舗の大型化・標準化を図ることです。

今後もお客様の「普段の食生活の向上」に資するため、常にお客様の要望に耳を傾け、お客様のための売場づくりを続けていく方針です。



営業の概況

当期における小売業界は、消費者の節約志向が強まるとともに、企業間競争の激化とデフレーションによる販売価格の下落傾向が継続し、業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は「消費者の毎日の食生活を豊かにするためのお手伝いをする」という、スーパーマーケットの社会的役割を果たすため、普段の食生活を重視した商品づくりと品揃えの徹底を図るとともに、物流・商流の見直しと共同配送の実施による仕入コストの低減、およびプライベートブランド商品を中心とした戦略商品の開発と拡販による同業他社との差別化を推進し、競合店対策と販売促進企画の強化により消費者からの支持を拡大してまいりました。

また、店舗の大型化・標準化を推進し、社員教育の充実を図り、自己資本比率の向上とキャッシュ・フロー経営の推進による財務体質の改善に努めてまいりました。

さらに、お客様へのサービスの一環として、地元信販会社カードに加え、全国ネットのクレジットカードの取扱いを開始し、利便性の拡充を図りました。また、一部の店舗においては、サインレスのシステムを導入いたしました。

店舗につきましては、既存店の活性化策として、平成14年10月に「北斗店」および「上富良野店」（ともに旭川ブロック）の改装を実施し、平成15年7月にオープンモール型ショッピングセンターの核店舗として、直営売場面積500坪型店舗の第8号店「旭町店」（旭川ブロック）を新規出店いたしました。この結果、当期末現在の店舗数は帯広ブロック12店舗（うち500坪型5店舗）、旭川ブロック9店舗（うち500坪型3店舗）、合計21店舗であります。

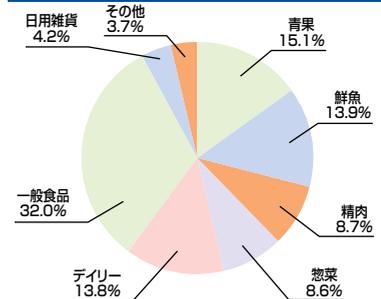
売上高の前期比につきましては、帯広ブロック3.6%増、旭川ブロック2.9%増と順調に推移いたしました。また、既存店売上高の前期比においても100.6%を確保いたしました。

これらの結果、当期の売上高は230億4千万円（前期比3.2%増）、経常利益は5億3千9百万円（前期比5.1%増）、当期純利益は2億9千2百万円（前期比4.0%減）となりました。

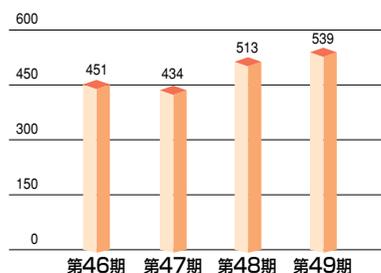
売上高 (単位:百万円)



部門別売上高



経常利益 (単位:百万円)



会社が対処すべき課題

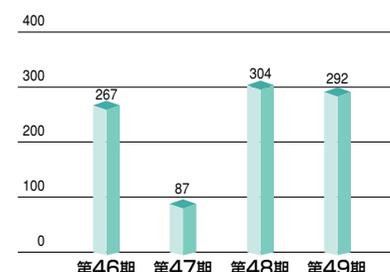
今後の景気動向は、輸出の増加などを背景に民間設備投資の回復が期待されるものの、雇用情勢や所得環境は依然として厳しい状況が続き、景気の急速な好転は期待できない状況下にあると思われます。

小売業界の消費動向は、販売価格の下落傾向や企業間競争の激化に加えて、食品に対する安心・安全・健康への関心の高まりを背景に品質志向が一段と強まり、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況のもと、当社は帯広および旭川地区におけるドミナント戦略の拡充を図るとともに、さらなる飛躍を目指し、平成16年7月に札幌へ進出いたします。出店予定地は西区八軒、敷地面積2,500坪を確保し、当社が推進している直営売場面積500坪型店舗の第9号店を新規出店いたします。また、「西店」（旭川ブロック）の増床を行い、既存店の競争力強化を図る予定であります。

今後も、お客様の「普段の食生活の向上」に資するため、常にお客様の要望に耳を傾け、お客様に新鮮な驚きを与えられる売場づくりに挑戦し続けるとともに、販売分析システムの導入による機動的な価格政策と品揃えを実現し、企業資産の効率的な運営により、利益の拡大と企業体質の強化に努めてまいります。

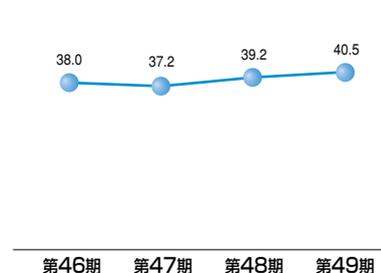
当期純利益 (単位:百万円)



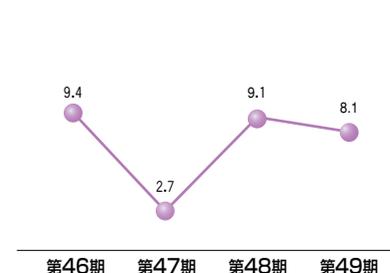
純資産・総資産 (単位:百万円)



自己資本比率 (単位:%)



自己資本利益率 (ROE) (単位:%)



貸借対照表 (平成 15 年 9 月 30 日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,882,803	流 動 負 債	2,760,648
現金及び預金	1,068,624	買掛金	1,295,094
売掛金	15,882	短期借入金	100,000
商品	554,085	1年以内に返済予定の長期借入金	508,442
貯蔵品	7,394	未払金	139,348
前払費用	45,681	未払費用	208,709
繰延税金資産	90,171	未払法人税等	138,297
未収入金	98,034	未払消費税等	46,664
その他	3,280	預り金	90,726
貸倒引当金	△ 350	賞与引当金	196,458
固 定 資 産	7,276,945	その他	36,907
有 形 固 定 資 産	5,503,104	固 定 負 債	2,687,817
建築物	2,934,763	長期借入金	1,862,560
構築物	162,969	退職給付引当金	360,822
車両運搬具	121	役員退職慰労引当金	135,232
器具備品	74,720	預り敷金・保証金	329,203
土地	2,330,529	負 債 合 計	5,448,466
無 形 固 定 資 産	29,483	資 本 の 部	
借地権	21,062	資 本 金	840,455
電話加入権	8,421	資 本 剰 余 金	767,302
投 資 其 他 の 資 産	1,744,358	資本準備金	767,302
投資有価証券	47,732	利 益 剰 余 金	2,099,249
出資金	1,860	利益準備金	159,266
子会社出資金	3,000	任意積立金	1,600,000
長期貸付金	400,404	別途積立金	1,600,000
長期前払費用	119,388	当期末処分利益	339,983
繰延税金資産	181,588	株 式 等 評 価 差 額 金	5,303
差入敷金・保証金	887,496	自 己 株 式	△ 1,027
出店仮勘定	100,000	資 本 合 計	3,711,282
その他	6,187	負 債 ・ 資 本 合 計	9,159,749
貸倒引当金	△ 3,300		
資 産 合 計	9,159,749		

POINT ①

有形固定資産の減価償却累計額
2,888,806千円

POINT ②

当期から「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準」を適用しております。

POINT ③

税効果会計により、繰延税金資産が、前期より21,212千円増加しました。

POINT ④

当期に新規出店した旭町店の建設協力金(金融商品会計処理)が含まれています。

損益計算書 (平成 14 年 10 月 1 日から平成 15 年 9 月 30 日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額
営 業 収 益	23,364,553
売上高	23,040,368
不動産賃貸収入	276,253
その他の営業収入	47,931
営 業 費 用	22,793,006
売上原価	17,470,235
販売費及び一般管理費	5,322,771
営 業 利 益	571,546
営 業 外 収 益	24,319
受取利息及び配当金	9,646
その他の営業外収益	14,672
営 業 外 費 用	56,061
支払利息	53,189
その他の営業外費用	2,871
経 常 利 益	539,804
特 別 損 失	9,739
固定資産除却損	9,739
税 引 前 当 期 純 利 益	530,064
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	259,733
法 人 税 等 調 整 額	△ 22,065
当 期 純 利 益	292,396
前 期 繰 越 利 益	47,586
当 期 未 処 分 利 益	339,983

POINT ①

売上高 103.2%
前年比客数 104.6%
前年比客単価 98.7%

POINT ②

固定資産除却損の内訳
建 物 4,892千円
器具備品 949千円
その他 3,897千円

POINT ③

前期において特別利益として「退職給付引当金取崩益」43,262千円が計上されていたため、前期比4.0%減となりました。

記載金額は貸借対照表、損益計算書ともに、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

利益処分

(単位：円)

科 目	金 額	
当 期 未 処 分 利 益		339,983,535
これを次のとおり処分いたします。		
利 益 処 分 額		
利 益 配 当 金	56,675,790	
(1 株 に つ き 17円) (うち 普 通 配 当 15円) (記 念 配 当 2円)		
役 員 賞 与 金	12,000,000	
(うち 監 査 役 賞 与 金)	(800,000)	
別 途 積 立 金	200,000,000	268,675,790
次 期 繰 越 利 益		71,307,745

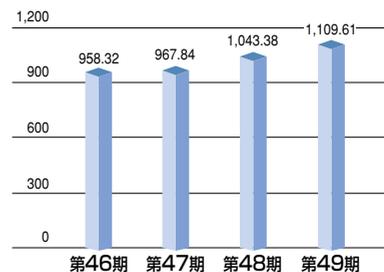
(注) 利益配当金は、自己株式2,230株を除いて計算しております。

キャッシュ・フロー計算書(要約) (平成14年10月1日から平成15年9月30日まで)

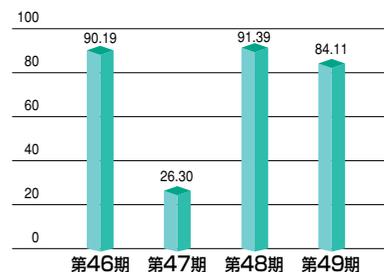
(単位：千円)

科 目	金 額	
営業活動によるキャッシュ・フロー		573,385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	471,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	36,266
現金及び現金同等物に係る換算差額		—
現金及び現金同等物の増加額		66,070
現金及び現金同等物の期首残高		786,468
現金及び現金同等物の期末残高		852,539

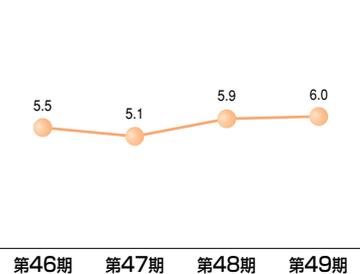
1株当たり純資産額 (単位：円)



1株当たり当期純利益 (単位：円)



総資本経常利益率 (単位：%)



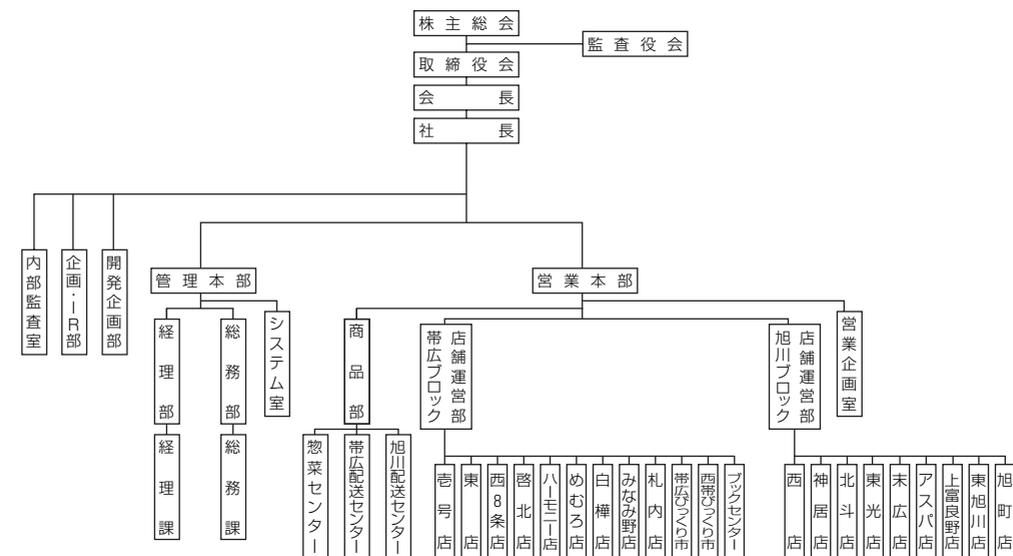
会社概要 (平成15年9月30日現在)

商 号 株式会社ダイイチ
 本 社 所 在 地 北海道帯広市東5条南11丁目6番地
 会 社 設 立 昭和33年7月11日
 資 本 金 840,455千円
 従 業 員 数 232名(正社員数)
 主要な事業内容
 1) 総合食品品の販売
 2) 日用品の販売
 3) 書籍、雑誌、文房具の販売
 4) 衣料用繊維製品の販売
 5) 家庭用電化製品の販売
 6) ペット用品、ペットフードの販売
 7) 酒類、煙草、印紙の販売
 8) 前各号に関連する一切の事業

役 員 (平成15年12月19日現在)

代表取締役会長 川 上 直 平
 代表取締役社長 小 西 保 男
 専 務 取 締 役 鈴 木 達 雄
 常 務 取 締 役 堀 内 健 三
 常 務 取 締 役 若 園 清
 取 締 役 渡 部 朋 充
 取 締 役 笹 井 俊 治
 取 締 役 内 藤 龍 信
 常 勤 監 査 役 杉 森 征 四 郎
 監 査 役 佐 藤 裕
 監 査 役 笹 井 祐 三

組 織 図 (平成15年9月30日現在)



事業所一覧 (平成 15 年 9 月 30 日現在)



本 社 北海道帯広市東 5 条南 11 丁目 6 番地
 帯 広 本 部 北海道帯広市西 20 条南 1 丁目 14 番地
 旭 川 本 部 北海道旭川市末広 1 条 7 丁目 265 番地

帯広ブロック

北海道帯広市 啓北店 東 店 西 8 条店
 ハーモニー店 白樺店
 みなみ野店 帯広びっくり市 西帯びっくり市
 北海道河西郡芽室町 めむろ店 ブックセンター
 北海道中川郡幕別町 札内店

旭川ブロック

北海道旭川市 西 店 神居店 北斗店
 東光店 末広店 アスパ店
 東旭川店 旭町店
 北海道空知郡上富良野町 上富良野店

センター

帯 広 市 惣菜センター 帯広配送センター
 旭 川 市 旭川配送センター



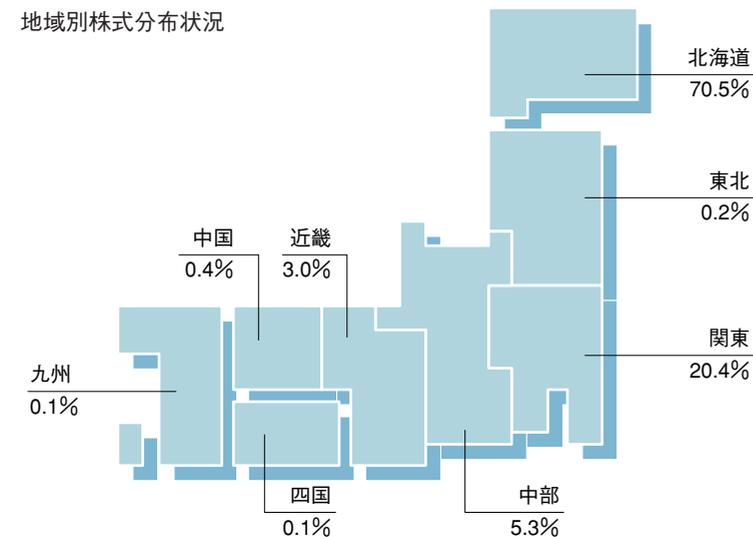
株式の状況 (平成 15 年 9 月 30 日現在)

- ① 会社が発行する株式の総数 10,000,000 株
- ② 発行済株式の総数 3,336,100 株
- ③ 株主数 539 名
- ④ 大株主

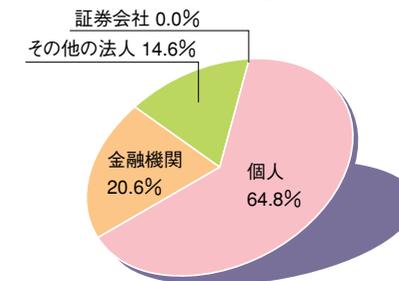
株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数	議 決 権 比 率
川 上 直 平	330,925 株	9.96 %
株 式 会 社 北 陸 銀 行	122,100	3.68
ダイイチ社員持株会	106,000	3.20
ダイイチ取引先持株会	105,000	3.17
株 式 会 社 北 洋 銀 行	100,000	3.02
商 工 組 合 中 央 金 庫	96,000	2.89
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	84,000	2.53
内 藤 龍 信	78,865	2.35
若 園 清	77,750	2.32
笹 井 清 志	75,895	2.26

(注) 当社は、株式会社みずほ銀行の持株会社である株式会社みずほフィナンシャルグループの株式 5 株および株式会社北陸銀行の持株会社である株式会社ほくざんフィナンシャルグループの株式 160,000 株を所有しております。なお、各社に対する議決権比率は、0.00 %です。

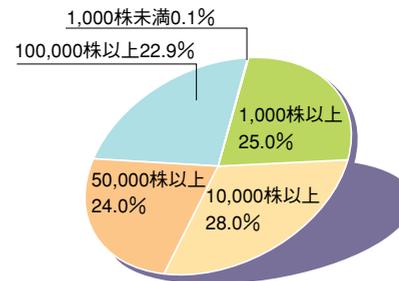
地域別株式分布状況



所有者別の構成比



所有株式別の構成比



2004年 IR・株式カレンダー

- 10月 月次報告開示
- 11月 月次報告開示・決算短信開示
- 12月 月次報告開示・定時株主総会開催・事業報告書送付・有価証券報告書(EDINET)提出

これからの予定

- 1月 月次報告開示・第1四半期業績開示
末日：株主優待希望申込締切
- 2月 月次報告開示
- 3月 月次報告開示・31日：中間決算日
- 4月 月次報告開示
- 5月 月次報告開示・中間決算短信発表
- 6月 月次報告開示・半期報告書(EDINET)提出
- 7月 月次報告開示・第3四半期業績開示
- 8月 月次報告開示
- 9月 月次報告開示・30日：決算日

ホームページをご覧ください

当社では、株主の皆様をはじめ、お客様や関係者の方々に当社の情報をお届けするためにホームページを開設しております。今回リニューアルしました。IR情報を中心に店舗案内、リクルート等を適時開示しております。

アドレスは、<http://www.daiichi-d.co.jp/>です。

なお、営業サイトでは、本日のお買い得品情報を更新しておりますので、ぜひご覧ください。

営業サイトは「すまいるどっとこむ」

アドレスは、<http://www.daiichi-s.com/>です。

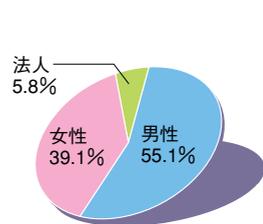
アンケート結果

アンケートでは皆様からご意見や激励のお言葉をいただき、誠にありがとうございます。一枚一枚丁寧に読ませていただいています。

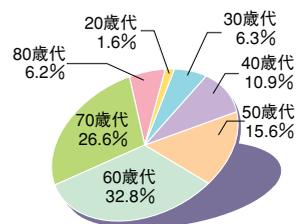
過去3回のアンケートの実施により得られた株主の皆様のお声に真摯に取り組み、当期より株主優待は選択制を導入いたしました。今後ともダイイチへの一層のご支援とともに、アンケートのご協力をお願い申し上げます。

○アンケートのご回答をいただいたお方

(男女構成比)



(年齢別構成比)



○貴重なご意見・ご要望より(抜粋)

- ・長期保有を考えています。是非頑張ってください。配当および株主優待に関しては文句のつけようがなく是非安定していただきたい。(男性・50歳代)
- ・グレードが高く安心して買い求めることができるような商品をより多く取り揃えてほしい。(法人)
- ・食品に関しては安全性に消費者はかなり敏感になっています。それに加えて、価格面で買い得感があれば、必ず売上は上がるはず。期待しています。(女性・40歳代)
- ・「うそのない経営」にして大きく成長してください。(男性・50歳代)
- ・道外の株主です。積極的なIR活動をしていくべきだと思います。(女性・30歳代)

株主優待のお知らせ

当期(第49期)より、株主様のご要望に応え優待商品を選択制にいたしました。ご希望の商品を1品お選びいただき、添付のはがきをご返送ください。

なお、ご希望の商品が届く締め切りは1月末日到着分とさせていただきます。お申し込みがなかった株主様には下記の要領により北海道物産品もしくは当社商品券を発送させていただきますので、ご了承の程お願い申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

優待内容と申し込み方法について

ご優待対象株主 平成15年9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された1,000株以上所有の株主様を対象。

ご優待の内容 下記の中から1点をお選びください。

- A 当社商品券3,500円(500円券、7枚)
- B 北海道特産品 グリーンアスパラ 1.2kg(3,500円相当)
- C 北海道特産品 長芋 5kg(3,500円相当)
- D 北海道特産品 メロン2玉(3,500円相当)

申込方法 ご希望の商品が決まりましたら、添付のはがき(アンケート付)にご記入のうえ、切手を貼らずにポストに投函ください。

希望申込受付期間 平成16年1月末日到着分まで

- お申し込みがない場合
- ① 店舗のある地域(十勝支庁管内、上川支庁管内)の株主様に対し、商品券を贈呈します。
 - ② 店舗のない地域の株主様に対し、北海道特産品メロン2玉を贈呈します。

- 商品の発送
- A 当社商品券は2月下旬
 - B グリーンアスパラは収穫時期の5月を予定
 - C 長芋は収穫時期の6月頃を予定
 - D メロンは収穫時期の7月を予定

アンケートご協力をお願い

当社では、株主や投資家の皆様とのコミュニケーションをさらに充実させたいと考えており、皆様から忌憚のないご意見を頂戴いたしたいと存じます。つきましては、ご優待申込はがきのアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。

